

資料 8

研修カリキュラム（生産管理分野改善版）

訓練技法開発研修カリキュラム

コース番号	コース名	期 間	定員	日数
	生産管理の要素を導入した 訓練技法の開発		12	3
開催会場	職業能力開発総合大学校			
研修のねらい 及び到達目標	多品種少量生産や価値創造型のものづくりが必要となっている製造業の背景を踏まえ、生産管理を含めた広い視野を持ちながら、「ものづくり」の教育訓練を実施することが重要である。本研修では、工場管理技術科の訓練事例や生産管理の展開事例を交えながら、生産管理の要素を取り入れた「ものづくり直接生産分野」の訓練技法の開発と訓練内容の改善を図る。			
研修対象者 と 前提条件	対 象 者：業務経験5年程度の指導員 前提条件：各専攻において、専門的な教育訓練を実施していること			
研 修 内 容	項 目	学 科 H	実 技 H	
	1. 生産管理を踏まえた教育訓練の重要性 1.1 製造ビジネスの展開と生産管理の位置づけ 1.2 生産管理の範囲と内容 1.3 産業界における生産管理の実際 1.4 マネジメント感覚を持ち指導することの必要性	6.0		
	2. 作業編成に着目した生産管理の教育訓練事例 2.1 工場管理技術科における生産管理の訓練項目 2.2 事例の位置付けと訓練効果 2.3 教材の選定とカリキュラムへの反映 2.4 教育訓練の実施とその評価	1.5	0.5	
	3. ものづくり直接生産分野に生産管理の要素を取り入れた事例 3.1 加工・組立・各種工事に関わる教育訓練の実際 3.2 生産管理の要素を取り入れるための題材の選定 3.3 加工・組立・各種工事の手順と作業時間の編成 3.4 ものづくり直接生産科目への期待される適用効果 3.5 まとめ	2.5	0.5	
	4. 生産管理要素を適用した訓練（内容・カリキュラム等）の検討 4.1 進め方の説明とグループ編成 4.2 担当科目への適用例の立案 4.3 適用にあたっての問題点の整理		5.5	
	5. まとめ 5.1 検討結果の発表と質疑応答 5.2 まとめ		1.5	
		計 10	計 8.0	
担当教員 (所属工学科)				
使用する機器 及び教材等	パソコン、プロジェクタなど			